

日本語中級 2（聴解）

選択(2単位) 月2時限 教員氏名：徳増 紀子

開講年度 2017年度

開講学期 2017年度（後期）

【授業種別】 授業は、週1回(90分)で15週。欠席が3分の1以上の場合は不合格となる。遅刻と早退を計3回すると、1回の欠席となる。また30分以上の遅刻と早退は欠席とする。

【授業概要】 日本語中級後期レベル若しくは同レベルの日本語力の確実な定着を図る学生を対象とする。この授業では、学生が大学の講義や研究発表を聞く力をつけることを目指す。聞いたことをまとめたり、クラスで話し合ったりすることによって、テーマについての理解と知識を深める。

【授業計画】 参加者の状況により変更する場合があるが、現段階では以下の予定。

第1回 オリエンテーション

第2-3回 聞き分け練習 テーマ1, 2

第4-13回 聞き分け練習 テーマ3~7

第14回 期末テスト テーマ8

第15回 聞き分け練習 期末テストフィードバック 総括

・奇数回（第3, 5, 7, 9, 11, 13回）に聴解クイズを実施

【授業内容】 日本文化や社会問題等についての講義、ニュース、まとまりのある会話を聴いて、話しの流れ、全体の構成や論理の展開を理解するための練習を行う。テーマについて、聞き取り練習、要点のメモ、要約を作成し、クラスで話し合いを行う。要約は授業中に作成し提出する。毎回授業の始めに10分程度、留学生にとって紛らわしい音やアクセントの聞き分け練習を行う。アクセントや短いテキストを扱った聴解クイズを計6回実施する。

【評価基準】 授業出席3分の2以上を評価対象とする。

評価割合は、聴解クイズ30%（5%×6回）、期末試験20%、提出物30%、平常点（出席、授業に対する取り組み、話し合いへの積極的な参加と協力）10%、コース開始時からの上達10%

S（100~90点） A（89~80点） B（79~70点） C（69~60点） D（59点以下）

【教材】 『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解 [中上級]』（スリーエーネットワーク）

【その他】 質問等は授業後やメールで受け付ける。メールアドレスは初回授業時に伝える。